

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 平成25年度の業務の実績に関する評価結果の概要

1 地方独立行政法人の評価制度

県は、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院(以下「法人」という。)が5年間で達成すべき目標(以下「中期目標」という。)を定め、これに対し法人は、中期目標を達成するための計画(以下「中期計画」という。)を作成し、中期計画に従って5年間の業務運営を自主的・自律的に行う一方で、法人の業務の実績を第三者機関である評価委員会が事後に評価する制度が設けられました。

評価委員会は、法人が5年間で中期目標を達成できたかを評価することになりますが、各事業年度においても、中期計画の実施状況の評価し、中期目標の達成に向けて順調に進んでいるかをチェックすることになっています。

2 評価結果の概要

全体評価 A(中期目標の達成に向けて順調に進んでいる)

| | |
|---|--|
| S | 中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある(評価委員会が特に認める場合) |
| A | 中期目標の達成に向けて順調に進んでいる |
| B | 中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる |
| C | 中期目標の達成のためにはやや遅れている |
| D | 中期目標の達成のためには重大な遅れがある |

| 大項目 | 評価の内容(特筆すべき点・課題) | |
|---------------|------------------|--|
| 住民サービス等の質の向上 | 特筆すべき点 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療事務作業補助者を増員し、補助体制加算を達成するとともに、夜勤専従看護師の配置など努力がみられる。病児保育利用実績の大幅な増加も非常に高く評価できる。 ○ インシデントの件数が引き続き増加しており、医療安全対策の充実に大きく貢献したものと評価できる。 ○ 紹介率・逆紹介率ともに高い水準で維持されており、近隣の医療機関との役割分担、連携強化を推進したことは高く評価できる。 ○ 合同カンファレンスの実績が順調に上がっており、地域の介護・福祉機関などとの連携が有効に機能していることは高く評価できる。 ○ がん患者の受け入れがかなり増加するとともに、高精度放射線治療システムの本格稼働によりがん診療拠点の役割を果たし、併せてがん治療における地域医療機関との連携に努められており評価できる。 ○ がん患者等の緩和ケア病棟への受け入れにより、在宅生活への継続に寄与しており、その成果は評価できる。 ○ 中津川市民病院への人的支援を行うなど、東濃地域のへき地医療に貢献している。 |
| 業務運営の改善及び効率化 | 特筆すべき点 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な勤務体系や柔軟な職員配置などにより、細かい労務管理ができています。 |
| 予算、収支計画及び資金計画 | 特筆すべき点 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 経常収支比率が100%を大きく上回っているなど、年度計画を達成した経営努力は評価できる。 |
| その他 | 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 7対1看護の導入に向けて引き続き努力されたい。 |